

郡上高校の販売所をデザインしよう！

食品流通科3年 流通専攻 デザイン班

目的

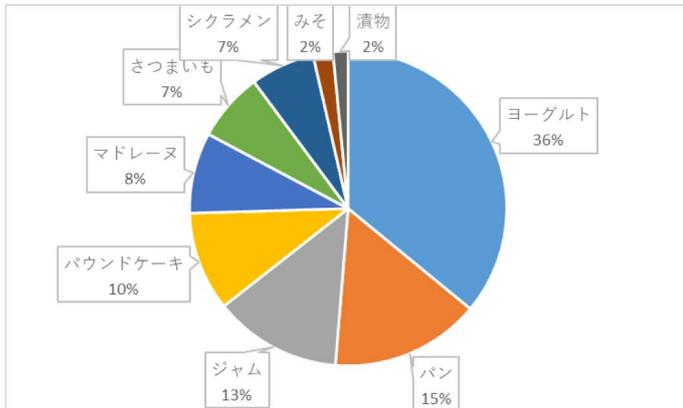
販売所が建つにあたって最初は知名度が低く、リピーターも少ないという課題から販売所の名前、ロゴ、キャラクターを作成し、郡上高校の先生、生徒、地域の方に馴染みを持ってもらう販売所を作る。

活動内容

1. アンケートを実施

先生や生徒に意見を取り入れたいと考え、アンケートを実施した。

Q「農業科の農産物・加工食品の中で印象の強いものは何ですか」



グラフ 1.農産物アンケートの結果

Q「新しくできる販売所の名前の案を教えてください」

- ・ららまーと ・ふるさと ・ジャムおじさん ・郡高SHOP
- ・農業パラダイス ・ファーマーズ

2. 名前の案を農業科の先生方にプレゼン

アンケートからの名前

考案した名前

郡高SHOP
ららまーと

ずっとマルシェ
ぐっと・郡っと

たくさんの方から親しまれて、郡上らしさが伝わるような名前を考案し、それぞれの名前に込められている願いや思い、印象などをまとめた資料を作り先生方に説明をした。

《先生方のアドバイス》

- ・12月に実施したアンケートでは思いを伝えきれなかった。
- ・販売所のイメージやコンセプトを明確にし、アンケートを行ったほうが良い。
- ・回答率を上げるために多くの生徒が名前を考えたいと思ってくれるようなもう工夫が欲しい。



写真1.農場の先生へ提案

販売所がどんな場所かを把握することが大切！

販売所の設計図を立体に

3. 販売所の設計・デザイン



写真2.①立体図を書く



写真3.②資料やサンプルから色を組み合わせる

③12パターンの販売所を提案

販売所の外観が完成！



図1.販売所の外観図

販売所の特徴

- ・郡上市の景観条例に違反していないか
- ・派手な色でないか
- ・校舎の色に似た壁
- ・農業らしい緑色の屋根

4. コンセプトを考える

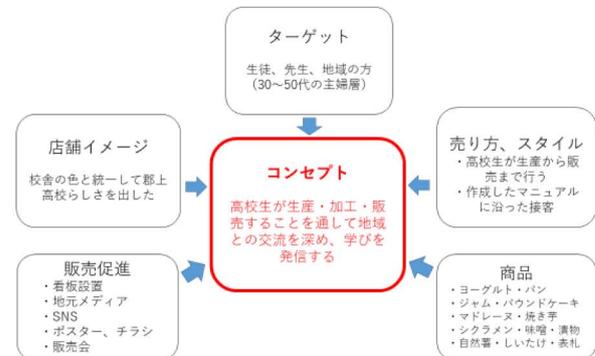


図2.コンセプトのまとめ

学んだこと

未来に残っていく販売所を作るためには慎重に活動を進めていくことが大切であり、どんな願いを込めたのか、どんな場所なのかというイメージを明確にしてデザインを考えることがより良い販売所にするための第一歩だということを学んだ。

今後の活動

販売所の内装の設計図を立体にする

販売所のイメージをよりわかりやすく提示できるようにするために、内装のイメージ図を作成する。

名前の決定

コンセプトにあった名前を考案し、農場の先生へ提案する。その後、全校に向けてアンケートを実施し、どの名前が郡上高校の販売所にふさわしいのかを集計し決定する方向で行う。

看板の作成

ロゴデザインを考え、作成したものを農場の先生へ提案する。ロゴデザインの決定次第看板の木の板を森林科学科に依頼し、看板を作成する。